

2016年度冬学期「都市の交通政策Ⅰ・Ⅱ；交通まちづくりの理論と実践」

木曜日の6限(18:40-20:05)・7限(20:10-21:35)

担当教員名 原田 昇

・講義の目的

まちづくりに貢献する交通計画の理論を理解し、先進事例を通して、そのポイントを理解する。

・成績評価

出席状況とレポート(2回)に基づき評価する。

レポートは合成形成/調査手法に着目した事例分析と計画制度/担い手育成に着目した事例分析とする。

・講義項目と日時(12/1, 8, 15, 22, 1/5, 12, 19, 26の八回、十六コマ)

1. 「交通まちづくり」序論

① 「交通まちづくり」の昨日、今日、明日 原田昇(東大都市工) 12/1(6限)

2. 「交通まちづくりミニWS～鼎談 東京、その移動と未来の都市像を構想する」 12/8(6,7)

① 概要:本鼎談では、東京における新たなモビリティのインストールとそのための社会実験の方法を議論したい。オリンピック・パラリンピックを迎える東京の交通まちづくりに着目し、鉄道・バス・自動運転といった高速モビリティと、自転車などの遅い交通、建築・移動空間双方の視点から、都市と交通のトータルデザインに向けた社会実験・実装はどのように進めていくべきだろうか。新たなアルゴリズムや大胆な都市構想を下敷きとする新モビリティの導入、駅や道路といったパブリックな移動空間のリノベーションを念頭に、新たな東京の都市像のスケッチを試みる。

② コーディネータ 羽藤英二(都市工学者・東大教授)

③ 講演者 神田 昌幸(東京五輪組織委員会 施設整備調整局長)、千葉学(建築家・東大教授)、森昌文(国土交通省技監)

3. 「交通まちづくり」の理論

① ビジョンの構築と合意形成 高山純一(金沢大学) 12/15(6)
② 交通まちづくりの調査手法 溝上章志(熊本大学) 1/19(6)
③ 交通まちづくりの制度 谷口守(つくば大学) 1/5(6)
④ 交通まちづくりの担い手 土井勉(大阪大学) 1/12(6)

4. 「交通まちづくり」の実践

① 金沢市: 条例制定によるまちづくりの継承 高山純一(金沢大学) 12/15(7)
② 宇都宮市: ネットワーク型コンパクトシティ 森本章倫(早稲田大学) 12/1(7)
③ 熊本市: 公共交通の再デザイン 溝上章志(熊本大学) 1/19(7)
④ 京都市: 「歩くまち・京都」の試みと実践 土井勉(大阪大学) 1/12(7)
⑤ 交通まちづくり研究室の実務から 須永大介(計量計画研究所) 12/22(6)
⑥ 交通まちづくりと交通実験 久保田尚(埼玉大学) 1/5(7)

5. 「交通まちづくり」の未来

① 子育て、子育ての交通まちづくり 大森宣暁(宇都宮大学) 1/26(6)
② 歩きやすい都市づくりに向けての回「遊」性戦略 野原卓(横浜国立大学) 12/22(7)
③ 交通都市2050を考える 羽藤英二(東大社基) 1/26(7)

参考文献

- 1) 原田昇編著、「交通まちづくり～地方都市からの挑戦」、鹿島出版、2015年7月
- 2) 交通まちづくり研究会編著、「交通まちづくり～世界の都市と日本の都市に学ぶ」、交通工学研究会、2006年7月